

足立健康友の会

かばら支部ニュース

第25号

2010年8月19日

☎: 3605-5594

<http://kabara-tomonokai.kenwa.or.jp/>

核なき世界へ 廃絶交渉開始直ちに 2010原水爆禁止世界大会

アメリカが広島に原爆を投下してから65年、5月のNPT再検討会議で日本の被爆者を先頭にした核兵器廃絶署名690万筆の力で「核兵器のない世界」の実現を核保有国を含む192カ国の共通の目標として再確認しました。

今年の原水禁世界大会には、国連事務総長のパン・ギヌン氏が始めて参加しました。また、原爆を投下したアメリカ政府代表としてルース駐日大使も始めて参加しました。核保有国のロシア・中国のほかイギリス・フランスの政府代表も参加しました。秋葉広島市長が「平和宣言」のなかで核兵器のない世界の実現へ向け日本政府の役割が重大で「非核三原則」の法制化と「核の傘」からの離脱をすること「黒い雨の降雨地域」の拡大など被爆者へのきめ細やかな援護を求めました。

広島に行ってきました

原水爆禁止2010年世界大会
広島大会に行つてまいりました。

核兵器のない平和で公正な世界を築こうと国連事務総長を始め世界各国から参加者がありました。大変意義のある大会に行くことになり重荷も感じました。参加費用は1人10万円程かかります。募金



看護・介護の相談会

いつ 毎月、第3木曜日10時
どこで 小児科診察室
普段、受診しても先生と相談する時間がなく困っていること・わからないことなど相談ができます。

9月は16日10時

に協力して下さった方、バザーや炊き出しに協力してくださった方が沢山いました。色々な財政活動の場に必要に応じて皆さんが、さつと集まりなやかやかんや言いながらわいわいがやがやと、ときに口角泡を飛ばしながらも楽しそうに協力する、この力に感心しました。「感心ばかりしてないでやれ」とも言われ、微力ですがそれぞれの活動に参加してきました。

大沢 一夫

戦争体験（東京大空襲のむじろ）

空襲警報が始まり30分もしないうちに東南方向（私は千住旭町に在住）が真っ赤になり数時間後には家の前には、リヤカー、大八車、両手には風呂敷に包んだものを持ち大勢の人たちが家の前を通り日の出町方面へと、ともかく火元から少しでも遠くへの意識であってもなく歩いて行つたという記憶がある東京大空襲でした。

当時私は小学校3年生、親父は置職人で仕事もなく、時折強制疎開の手伝いに借り出されていました。今から考えるとどうやって食べていたのか不思議でならず、今はそれらを語る人もいなくなつた。兄は学童疎開でいなく、下には幼い弟がひとり、姉は専売公社の勤労動員と周りには縁故疎開で子供もいない状態で授業は午前中警報が鳴ると家に帰る毎日でした。3月11日親父は名古屋から出てきて最初に働いた深川の親方の見舞いに行くつもりだろうかと私を自転車の後ろに乗せ、一路墨提通りにから墨田公園へ業平とまだ燃えくすぶつてる街中を。

大勢の警防団、軍隊がきて、鳶口で“炭化生焼けの”の死体を山

積してる光景は忘れようとしても忘れられない思い出であります。



4月に入り横浜の空襲があり30分たらずで、どんより曇つた空から紙の焼けたものが空から降ってきて子供ころにまた大勢の人が死んでいったのかと思うとやり切れず、せつなく当時の教育から軍隊に入って仇を討ちたいと標準的な子供として育つていった。

神の国日本不滅と思つて学校からの通達で4月15日長野県の川中島へ出発。（寮からは30分ぐらいで武田、上杉の決戦地八幡原）

小学校3年のときでした。

人間を菩薩にも鬼にもする飢餓

戦争体験で忘れられないのは昭和20年、21年にかけての飢餓です。21年には上野駅の地下では被災孤児が何人も死にそれに混じって大人のたちもその臭さは異様であり物心がつくまでは地下を歩くのはイヤでもありました。特に冬場の学校の朝礼では寒さに耐え切れず教室に居残っていたりして予科練帰りの軍服を着た先生に叩かれ吹っ飛んだ記憶すら昨日のように思われます。昼休みには食事で1時間の休憩があるので家が帰っても食べ物があつたわけがなく、そのまま学校へ、今多くの学校では遠足、運動会とありましたが、1年から5年生まで私の記憶ではありません。ガリ版刷りのところどころに黒く塗った教科書を風呂敷に包んで学校に通ったことは今の子供たちには想像もつかない時代だったことです。その当時は戦争に負けたためにこのようになつたんだと漫然に思っただけだけど、高校に入って(夜学)仕事と両立で16歳の時、はじめて共産党宣言を読みこの苦しみの原因が理解できて今でも大切に思っています。残り少ない人生を警職法、安保闘争、日韓闘争と激動の時代を生

き抜き、いい時代を生きたと誇りを持って言えることが私の宝物でもあります。

亀井 静夫

小千谷のお盆

8月13日朝にお墓に行き清掃し先祖を迎える為の花を供え戸や窓の障子を張り替えた家の形をした燈明立てを建て夜の準備をします。

夕方、5時頃に早夕飯を食べ、水を済ませ子供は浴衣に着替え、旦那衆は夏の羽織・袴の正装になります。提灯を持ち墓に先祖様を迎えに行きます。

墓より迎え帰ったご先祖様の灯を仏壇に移します。迎え火です。家では沢山の枝豆や西瓜や瓜を冷たい井戸水に冷して置きます。家から嫁いだ小父さんや小母さん達がお参りに来てとても賑やかです。

14日・15日は盆踊りです。笛や太鼓を打ち鳴らし近所の声自慢の人達が次から次へ小千谷の盆踊り歌を歌えます。まずは一説

“盆だてがに茄子の皮の雑炊だア” “デッキイカカアもろうたア” “この言葉しか見えていません”

テレビの無い時代盆踊りや神社やお寺の境内での上映会とても楽しい時でした。

16日朝、お墓の飾りを取り払ってお盆は終わります。



27日は盂蘭盆で先祖の精霊の灯が川面を流れていきます。とても美しいです。どうか安らかにと手を合わせます。

大谷内 和子

地藏盆の思い出

地藏盆は京都や大阪などで8月24日に行われるお地藏さん(地藏菩薩)のお祭りです。お地藏さんは中近世以降、子供の守り神として信仰されるようになりました。私は幼少期を大阪府茨木市の農村で過ごし、小学校3年の時町場に移りました。家のすぐ横に

お地藏さんがあり、地藏盆が近づくくと町内の人々がこの日にかけて地藏の像に新しい前垂れを着せ、化粧をするなどして飾り付け、お供え物をしたりして祀ります。

夕方には提灯に灯が入り、近所のおばあちゃん達が(実際は50歳くらいのおばさん)集まって来て鈴を鳴らしながら詠歌を謡います。子供達は浴衣を着てふざけあつたり、たわいのない会話をした時間を過ごします。街角の祠なので出店などは出ません。



地藏盆が行われる8月24日は夏休みが終わりに近づき、宿題がそろそろ気になる時期です。昆虫採集や工作のアイデアはあるのだけれどもまだ手つかずです。算数や国語の宿題もいっぱい残っています。でもお祭りは大事で集まらな

翌日には、お供え物のお下げがあります。私の子供のころは世の中がまだ貧しく、果物やお菓子が食べられるのは大変うれいことでした。これを食べた後、いよいよ覚悟を決めて(あるいは仕方なく)宿題にとりかかるのでした。

(久保正雄)

川柳の投句者(50句) 50回を記念して皆さまの川柳を公募することになりました。課題は「秋」「祭り」と「自由」(時事)一人2句まで締め切り: 10月5日まで医科受付まで

第8期 蒲原健康講座のご案内			
2010年9月~10月			
課	開催日時	テーマ	講師
第1課	9月1日(水) 14:30~16:30	歯から始まる健康づくり	山本 世津子 先生 蒲原歯科診療所・歯科衛生士
第2課	9月18日(土) 14:30~16:30	生活習慣病に関わる薬について	松森 由佳 先生 東あやせ薬局・薬剤師
第3課	10月6日(土) 14:30~16:30	禁煙のすすめ	近藤 るみ 先生 東和保健センター・保健師
第4課	10月16日(水) 14:30~16:30	認知症について	水野 洋平 先生 地域包括支援センター・社会福祉士
第5課	10月30日(土) 14:30~16:30	肩・腰・膝の痛み	高 重義 先生 蒲原診療所・所長

参加費: 1講座200円(友の会員は100円)但し3課4課は無料
申し込み・問い合わせ先: 蒲原診療所1階受け付け 電話 3605-5594